

会 名	職 員 名	年 月 日 (場所)
第4回産学官ニーズ対応連環型交流会・講演会	武内 浩一	平成19年2月20日 (長崎市・ウェルシティ長崎)
九州自動車成長戦略フォーラム	久田松 学	平成19年2月20日 (福岡市・ホテル日航福岡)
強化磁器食器の衝撃試験に関する講演会	秋月 俊彦	平成19年2月20日 (有田町・佐賀県窯業技術センター)
地域団体商標制度及び小売等役務商標制度説明会	吉田 英樹	平成19年2月27日 (長崎市・ウェルシティ長崎)
XAFS講習会	高松 宏行	平成19年2月27日 (鳥栖市・佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター)
窯業基礎九州懇話会	武内 浩一	平成19年3月6日 (佐賀市・佐賀大学)
日本セラミックス協会2007年会	狩野 伸自	平成19年3月21日～3月23日 (東京都・武蔵工業大学)
「大出力レーザーと物質科学の接点」研究会	吉田 英樹	平成19年3月22日 (吹田市・大阪大学)
第4回学術フロンティアセンターシンポジウム	武内 浩一	平成19年3月24日 (長崎市・長崎総合科学大学)

8. 研究人材育成プログラム

8-1 研究員インターンシップ

(1)

研 修 名	平成18年度長崎県研究人材育成プログラム推進事業 (インターンシップ)
期 日・場 所	平成18年9月11～9月22日 (長崎陶料株)
内 容	製土 (原料の精製、調配合、混合、水ひ等、各種製土方法及びプロセス) について研修
職 員 名	陶磁器科 河野 将明

(2)

研 修 名	平成18年度長崎県研究人材育成プログラム推進事業 (インターンシップ)
期 日・場 所	平成18年10月23～11月2日 (聖栄陶器有)
内 容	成形・施釉・焼成 (ローラーマシーン、圧力成形など成形方法や施釉方法、連続焼成炉による焼成方法等) のプロセス及び管理技術の研修
職 員 名	陶磁器科 河野 将明

8-2 職員能力開発センター研修等

会 名	職 員 名	期 日 (場所)
新採前期研修	河野 将明	平成18年4月3日～4月14日 (長崎市・県庁)
MySQL研修	吉田 英樹	平成18年5月26日 (長崎市・県庁)
企画立案技法研修	山口 典男	平成18年6月22日 (長崎市・職員能力開発センター)
ホームページ管理者研修	桐山 有司 山口 典男	平成18年7月7日 (長崎市・西彼農協)
初級マネージメント研修	桐山 有司	平成18年7月13日 (諫早市・諫早商工会議所)
危機管理特別セミナー	野田 宏美 阿部 久雄	平成18年7月21日 (長崎市・長崎県農協会館)
目標管理研修	武内 浩一	平成18年7月25日 (長崎市・長崎グランドホテル)
上級マネジメント研修	武内 浩一	平成18年8月8日～8月9日 (長崎市・職員能力開発センター)
広報広聴研修	矢野 鉄也	平成18年8月21日 (長崎市・職員能力開発センター)
コーチング研修	桐山 有司	平成18年8月29日～8月30日 (長崎市・職員能力開発センター)
社会調査研修	久田松 学	平成18年9月4日～9月5日 (長崎市・職員能力開発センター)
ホームページ作成研修	山口 典男	平成18年9月4日～9月5日 (長崎市・県庁)
情報セキュリティ研修	山口 典男	平成18年9月13日 (佐世保市・県北振興局)
班長研修	兼石 哲也 阿部 久雄	平成18年9月19日～9月20日 (佐世保市・県北振興局天満庁舎)
新採後期研修	河野 将明	平成18年10月16日～10月20日 (長崎市・職員能力開発センター)
クレーム研修	狩野 伸自	平成18年10月24日～10月25日 (長崎市・職員能力開発センター)
広報広聴研修	桐山 有司	平成18年10月25日 (長崎市・職員能力開発センター)
他者の交流能力を高める研修	野田 宏美	平成18年11月14日～11月15日 (長崎市・長崎グランドホテル)
採用後1年6ヶ月経過した職員のレポート発表会	山口 典男	平成18年11月27日 (長崎市・県庁)
県研究機関の人材育成セミナー	吉田 英樹 山口 典男 河野 将明	平成19年1月15日 (長崎市・出島交流会館)

8-3 博士・修士号取得支援

(1)

職 員 名	研究開発科 狩野 伸自
期日・場所	平成17年10月1日入学 平成20年9月30日修了予定 九州大学大学院 工学府 物質創造工学専攻 北條研究室
内 容	研究題目「廃シリカ粒子のチタニア被覆と光触媒特性」 本研究では、種々のシリカチタニア系光触媒微粒子と光触媒特性（液相系・気相系の分解効率）の関係を解明して高活性な光触媒微粒子を開発する。

(2)

職 員 名	研究開発科 桐山 有司
期日・場所	平成18年4月1日入学 平成21年3月31日修了予定 九州大学大学院 芸術工学府 芸術工学専攻 福祉人間工学研究室
内 容	研究題目「ユニバーサルデザイン製品開発のための人間工学的評価技術に関する研究」 本研究は、ユニバーサルデザイン製品の開発プロセスに人間工学的評価方法を用いた製品のユーザビリティ評価方法の確立を目的としており、ユニバーサルデザイン製品の開発プロセスについての有効性を検証して、マニュアルを構築する。

8-4 依頼研究員長期研修等

(1)

研 修 名	陽極接合に関する研修
期日・場所	平成18年5月7日～5月20日（新潟大学）
内 容	金属とセラミックスを接合する技術のひとつである陽極接合の技法について研修し、生体材料として利用されるチタンとアパタイトの接合実験を行った。
職 員 名	研究開発科 山口 典男

(2)

研 修 名	高度処理浄化槽におけるリン除去・回収・資源化技術研修
期日・場所	平成18年9月10日～10月12日（(独)国立環境研究所循環型社会・廃棄物研究センター）
内 容	高度処理浄化槽におけるリン除去・回収・資源化技術において、以下のとおり研修した。 (1)吸着脱リン法及び鉄電解脱リン法における最適システム (2)吸着剤再生・リン回収の適正条件の開発と安定化
職 員 名	研究開発科 高松 宏行

(3)

研 修 名	リハビリテーション工学における身体への負荷に関する研修
期日・場所	平成19年2月26日～3月9日（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）
内 容	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科と共同研究を結び、リハビリテーション工学における身体への負荷に関する実験及び評価方法についての研修を実施した。
職 員 名	研究開発科 桐山 有司

8-5 国際学会発表派遣

学 会 名	日韓セラミックスセミナー
期日・場所	平成18年11月21日～11月23日（韓国牙山市・温陽ホテル）
目 的	第23回日韓国際セラミックスセミナーでの研究発表
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・陶磁器やファインセラミックスに関する、日韓両国の研究者の技術交流の場 ・アルミナ強化磁器の縁形状と衝撃強度との関係についての研究報告 発表テーマ：Effect of shape on the impact strength of strengthened porcelain tableware （強化磁器食器の衝撃強度に及ぼす縁形状の影響）
職 員 名	陶磁器科 秋月 俊彦（共同研究者：小林 孝幸、木須 一正、山口 英次）

8-6 知的財産基礎研修

研 修 名	知的財産権基礎研修
期日・場所	平成18年7月12日（窯業技術センター）
内 容	先行技術調査や特許明細書の作成方法等について
職 員 名	全員

8-7 知的財産専門研修

(1)

研 修 名	知的財産権専門員研修
期日・場所	第1回：平成18年9月8日（長崎市・県庁） 第2回：平成18年10月4日（大村市・工業技術センター）
内 容	第1回：知的財産制度の復習と先行技術調査の実践 第2回：特許明細書の作成と県職務発明制度、及び研究開発と技術移転
職 員 名	陶磁器科 吉田 英樹

(2)

研 修 名	知的財産シリーズセミナー
期日・場所	第1回、第2回：平成18年10月27日（長崎市・長崎大学） 第3回：平成18年11月1日（長崎市・長崎大学）
内 容	第1回：特許取得の目的、産業界に学ぶ強い特許の取り方 第2回：各人のテーマによる明細書の書き方の実習と講師による個別指導 第3回：宿題チェックと確認、明細書の書き方のノウハウとコツ
職 員 名	陶磁器科 吉田 英樹

9. 所内の定例会議・委員会等

9-1 研究会

(1)

会名	材料技術研究会
目的	無機材料の技術開発に関係した研究能力向上を目的として、毎週水曜日に実施した。
内容	装置利用方法（蛍光X線分析装置、熱分析装置、遠赤外線放射率測定装置）や客員研究員制度を活用した研究マーケティング等に関する研修会、透光性アルミナの製品化や石材関係の新製品開発に関するブレンストーミング、学協会や研修の報告会等とおして広く情報を収集し、ポテンシャルアップを図るとともに、2テーマのミニプロジェクトに取り組んだ。
開催回数	38回

(2)

会名	陶磁器技術研究会
目的	陶磁器の素材、試験方法などの業務における、職員の能力向上を目的として、毎週月曜日に実施。内容に応じて技術研修を行う。
内容	平成18年度は、低火度天草陶石を使用し、従来よりも約100℃低い1200℃焼成に適した素地の配合、並びに素地に適合した釉薬についても検討を行った。
開催回数	38回

9-2 金朝会

目的・内容	職員全員が参加、業界動向や技術情報等に関する、様々な情報交換を目的として毎週1回（金曜日）開催する。
開催日	毎週金曜日 9:00~10:00（年45回）

9-3 内部委員会

〔目的〕センターの業務運営を円滑に推進するために、目的別に内部委員会を設け、企画・検討を行うと共に、所員の協力を得ながら必要な作業を実施する

(1)

会名	業務報告編集委員会
目的	窯業技術センターが1年間実施した業務の内容・実績を「業務報告」としてまとめるため、原稿の編集及び調整を行う。
委員名	久田松 学、兼石 哲也、桐山 有司、秋月 俊彦、狩野 伸自
開催回数	4回

(2)

会名	研究報告編集委員会
目的	研究資料、歴史的資料、成果の普及・啓発に活用することを目的として、センターが実施した研究の内容・実績をとりまとめ、「研究報告」を年度終了後に編集・発行する。
委員名	吉田 英樹、阿部 久雄、兼石 哲也、矢野 鉄也、高松 宏行
開催回数	3回

(3)

会名	広報・一般公開委員会
目的	県民の科学技術に対する関心や理解を深めるため、センターの一般公開を毎年開催している（県立の7試験研究機関で実施）。また、一般公開のほか、県民や報道機関等への広報も担当している。
委員名	矢野 鉄也、吉田 英樹、桐山 有司、山口 典男
開催回数	4回

(4)

会名	見学案内担当委員会
目的	当センターへの見学者受け入れ及び見学への対応・調整を行う。
委員名	野田 宏美、桐山 有司、武内 浩一、秋月 俊彦
開催回数	10回（随時開催）

(5)

会名	「KAMA」編集委員会
目的	年2回発行する窯業技術センターの技術情報誌「KAMA」の原稿の編集及び調整を行う。
委員名	矢野 鉄也、武内 浩一、桐山 有司、山口 典男、河野 将明
開催回数	10回

(6)

会名	「広報波佐見（窯業技術センターコーナー）」編集委員会
目的	波佐見町が毎月発行する広報誌「広報波佐見」に掲載する原稿の編集及び調整を行う。
委員名	久田松 学、秋月 俊彦、阿部 久雄
開催回数	12回

(7)

会 名	ホームページ編集委員会
目 的	ホームページの構築・更新、掲載データの更新を行う。
委 員 名	桐山 有司、武内 浩一、秋月 俊彦、山口 典男
開 催 回 数	50回（データ更新を含む）

(8)

会 名	所内LAN・IMO・県庁LAN管理委員会
目 的	所内LAN及び県庁LANを構成する端末、サーバー、プリンタ、ケーブル等の運用・管理及び障害への対応を行う。
委 員 名	小川 修平、高松 宏行、吉田 英樹、山口 典男、河野 将明
開 催 回 数	30回（設定、障害対応含む）

(9)

会 名	特許・パトリス・JST管理委員会
目 的	センター職員が職務を遂行するために必要となる技術情報の検索、工業所有権の出願等に関する相談並びにデータベースの管理を行う。
委 員 名	吉田 英樹、久田松 学、秋月 俊彦、高松 宏行
開 催 回 数	1回

(10)

会 名	図書委員会
目 的	書籍、学術雑誌、技術雑誌、参考図書、定期購読書などの購入計画、所蔵図書の管理を行う。委員会の委員構成は、各課（科）より1名選出。
委 員 名	野田 宏美、河野 将明、桐山 有司
開 催 回 数	7回

(11)

会 名	展示品管理委員会
目 的	窯業技術センターの変遷や研究成果、企業との共同研究・共同技術開発の成果品及び県内窯業関連企業の商品などを管理、展示し紹介する。
委 員 名	久田松 学、兼石 哲也、山口 典男
開 催 回 数	1回

(12)

会 名	エコ推進委員会
目 的	センターにおける県庁エコオフィスプランに基づく温暖化対策を推進する。
委 員 名	野田 宏美、狩野 伸自、小林 孝幸、山口 英次、木須 一正
開 催 回 数	4回

(13)

会 名	重要物品等機種選定委員会
目 的	センターに導入する機器など重要物品に関し、使用目的や能力など試験研究に最適の機種を選定する。
委 員 名	福村 喜美子、野田 宏美、武内 浩一、小川 修平、兼石 哲也、阿部 久雄
開 催 回 数	2回

(14)

会 名	安全委員会（危険箇所チェック）
目 的	研究用機器及び施設について利用に関する安全管理及び対策を検討する。
委 員 名	野田 宏美、職場委員長、武内 浩一、山口 英次、木須 一正、高松 宏行
開 催 回 数	4回

10. 施設見学者数

(1) 見学者数の推移

年 度	18年度	17年度	16年度
件 数 (件)	68	62	48
入場者数 (人)	927	1,010	946

(2) 主な見学者・団体

団 体 名	人数(人)	見 学 日
すこやか長寿大学校・長崎校	66	平成18年6月6日
波佐見町議会産業厚生委員会	9	平成18年6月26日
駆け出し陶芸家塾	11	平成18年7月21日
西海・西彼杵教育研究会理科専門部	11	平成18年8月18日
長崎県地球温暖化防止活動	7	平成18年9月4日
福岡大学理学部地球圏科学科	26	平成18年9月12日
波佐見町老人会	7	平成18年9月12日
波佐見中央小学校	7	平成18年9月13日
長崎県青年団連合会	30	平成18年10月8日
九州大学大学院・インドネシアガジャマタ大学スタッフ	10	平成18年11月13日
長崎県原爆被爆者特別事業	13	平成18年12月7日
福建省経済行政研修生	2	平成19年2月2日
波佐見中央小学校	61	平成19年2月2日
九州大学大学院地球環境システム工学留学生	12	平成19年2月19日
佐賀県窯業大学校	21	平成19年3月23日

【資料】

長崎県の窯業・土石製品出荷額

平成17年1月～12月

項 目	企 業 数 (社)	従 業 員 数 (人)	出 荷 額 (万円)	出 荷 額 対前年比(%)
ガラス・同製品製造業	5	550	X	X
ガラス繊維・同製品製造業	1	8	X	X
その他のガラス・同製品製造業	4	542	1,367,098	112.1
セメント・同製品製造業	120	1,609	2,636,865	87.6
生コンクリート製造業	83	1,126	2,049,303	92.1
コンクリート製品製造業	37	483	587,562	74.8
陶磁器・同関連製品製造業	147	1,509	X	X
食卓用・ちゅう房用陶磁器製造業	95	1,223	691,545	89.3
陶磁器製置物製造業	3	16	6,888	66.6
陶磁器製タイル製造業	1	8	X	X
陶磁器絵付業	7	45	26,225	90.2
陶磁器用はい(坏)土製造業	1	6	X	X
その他の陶磁器・同関連製品製造業	40	211	77,978	98.2
耐火物製造業	1	5	X	X
その他の耐火物製造業	1	5	X	X
骨材・石工品等製造業	29	341	491,276	X
砕石製造業	6	82	92,856	81.0
石工品製造業	20	125	125,315	129.7
鉱物・土石粉碎等処理業	3	134	273,105	X
その他の窯業・土石製品製造業	12	83	41,873	X
石綿製品製造業	1	6	X	X
石こう(膏)製品製造業	9	56	27,346	94.4
他に分類されない窯業・土石製品製造業	2	21	X	X
合 計	314	4,097	5,364,128	95.1

※資料は「平成17年長崎県の工業」より従業員4人以上の事業所の出荷額を記載